

清水公共職業安定所 受付・職業紹介部門

統括職業指導官 林 大輔（平成 11 年入省）



現在の業務内容について

現在担当している業務は、ハローワークの受付・職業紹介部門で再就職を目指す求職者との職業相談、職業紹介を主に担当しながら部門全体の業務が円滑に遂行できるように管理・運営するといった、いわゆるプレイングマネージャーになります。

ハローワークの窓口を利用される求職者は、新規学校卒業者や子育て中の方、定年退職された方など幅広い年代の方々なので、当然に職業相談の内容は多岐にわたります。限られた時間の中で個々の相談内容を積極的に聴きながらサービスを提供しますので日々勉強が必要な業務です。

現在の職務に就いてから3ヶ月が経ちますが、法律や通達で示された範囲内で自由な発想・アイデアをもって挑戦できる業務だと感じると同時に、約20年間の行政経験の中で様々な業務や研修を通じて学んできたこと全てを活かすことができる業務だとも思っています。これからも過去の経験や知識を使いながら、現状にあったサービスにアップデートしていく柔軟な姿勢を持ち続けていくことが目標です。

労働局を選んだ理由

「幅広い年代の職業の選択」そのものをサポートできる職業だからです。

私は大学院情報工学科を修了している理系出身者です。約20年前の学生のときに「教育実習（高校数学）」と「学会での論文発表」に取り組んだことが、将来の職業を考える大きな出来事でした。「人と接する職業」と「研究開発者という職業」を自ら体験し考えることができたのです。

その中で「人と接する職業」を選択した決め手は「楽しい」と思える気持ちでした。また、教育実習先の担当教諭（就職指導担当）からハローワークの話聞き、その存在を知ったこと、私自身が将来の職業について熟考したことが大きな要因となりました。

育児休業について

15年前になりますが、ハローワーク清水で雇用保険失業等給付の手続き全般を担当しているときに、第1子の誕生を機に2週間の育児休業を取得しました。男性の育児休業取得はまだまだ少ない時代でしたが、雇用保険課9名の協力を頂いて、妻の産後休暇中に育児休業を取得することができました。とても感謝しています。

育児休業を取得するにあたって、父親教室で妊婦体験や人形を使っての沐浴指導、オムツ替え練習などにも参加して、一生のうちで数回しか体験できない貴重な時間を楽しめるように勉強しました。

その後、保育園に入園するタイミングで早出遅出勤務制度を利用して保育園への登園を楽しみました。3人乗り自転車が解禁されたタイミングでもあったので、前後に子どもを乗せてお昼寝布団を2つたすき掛け、両腕にオムツを入れたバッグを提げて毎日自転車登園（雨天は自動車登園）しました。子どもたちに聞くと「お父さんと自転車で保育園に行ったこと」「自転車の車輪が楕円形になって何かヘンな感じだったこと」等を今でも覚えているようです。

私たちの職場は、こうした様々な育児に関する制度を活用することに理解があってサポートできる環境が整っていますから、安心して子育てと仕事の両立ができます。

皆さんへのメッセージ

「ハローワークの紹介状は魂を込めて発行します」

ハローワークの仕事は、様々な事情で仕事を探している方々に寄り添いながら、できる限り希望に合った職業の紹介を行うことです。私たちの職業紹介は、仕事を探している方と職業を結びつける役割だけではなく、その方の人生そのものに関わるという責任ある仕事でもあります。

このため、日々の業務に真摯に取り組む姿勢、先輩や同僚の助言を求めながら経験を積むことが大切です。静岡労働局とハローワークの先輩職員は、皆さんが困難な課題に直面した時、皆さんと共に考え助言することを厭わない温厚な職員ばかりです。安心してキャリアを積める職場、常に自分が成長できる職場で一緒に働きましょう。